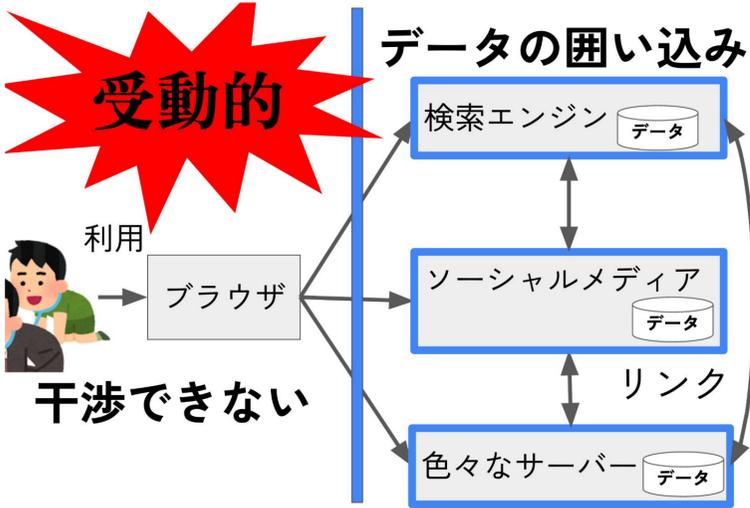


Web利用者は提供者(権威)に受動的に従う(隷属する)



1. Webアプリケーションに干渉できない

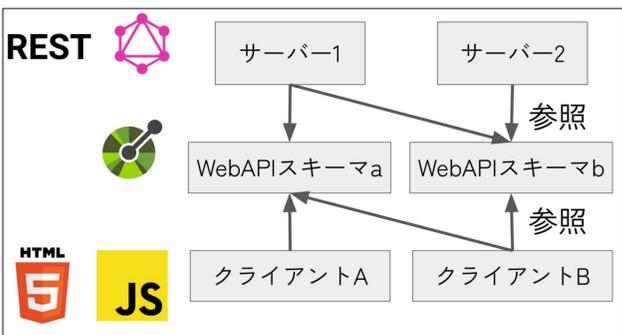
アプリケーションを目的の達成に必要な機能の集合体と定義する。気に食わない機能があっても利用者は削除できず、また欲しい機能があっても追加できない。これができるのは提供者のみである。いじれる範囲がとても狭い。

2. データが囲い込まれる

データはアカウントとコンテンツの2種類がある。これらが囲い込まれることにより、利用規約に同意しなかったり、信頼性の懸念があったとしても、皆が使っているという理由で使わざるを得ない。

上記の性質により提供者は権威性を帯び、また利用者が提供者(権威)を乗り換えることに莫大なコストがかかるようになる。この権威性と莫大なコストにより、**利用者は提供者に隷属することになる。**

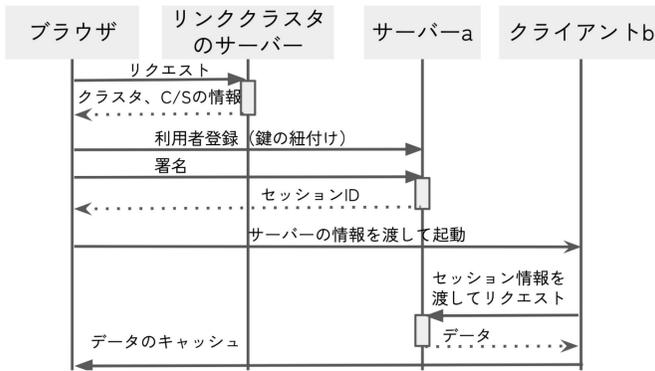
誰もが能動的であることを要求するWeb世界



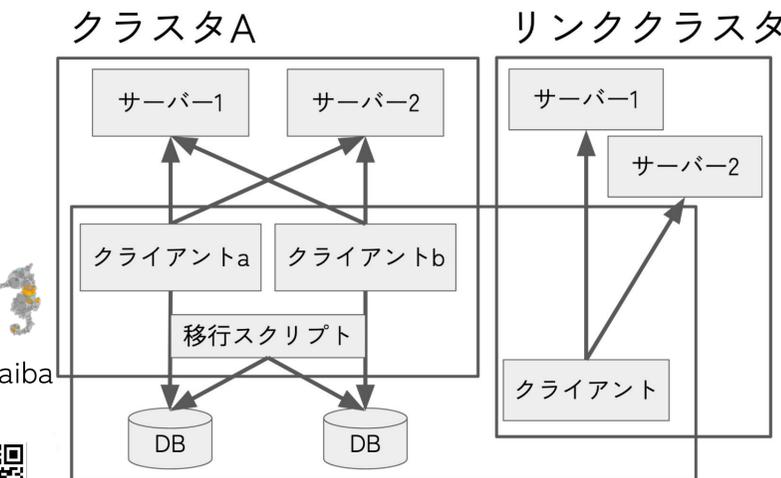
異なる人が制作したC/S (クライアント・サーバー) を繋げるため、C/Sの開発者は特定のスキーマ定義ファイル (OpenAPI等) を指定する。**事前にAPIの形式を定めないことで、自生的な発展が可能となる。**

ブラウザ (Kaiba)

- リンククラスタのクライアントの内蔵クラスタ、クライアント及びサーバー情報をアップロード&ダウンロードできる。
- ポータル画面の表示
ポータル画面ではクラスタの利用設定やアカウント操作等を行える。
- クライアント向けAPIの提供
主にアカウント・認証関係とDB関係の2種類を提供している。



Portable Web



リンククラスタは、クラスタのブートストラップを行うためのクラスタである。リンククラスタからC/S、移行スクリプトの情報を取得する。

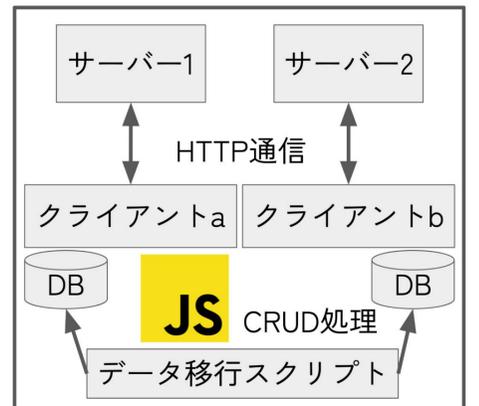
データロックインを回避!

クライアントがデータをキャッシュすること及びアカウントを公開鍵で表すことによってサーバーにデータがロックインされることを防ぐ。また、データ移行スクリプトによってクライアントにデータがロックインされることを防ぐ。データ移行スクリプトが実行不可能なクライアントは市場から追い出される。

現実の経済に適合しそうな感じです

データポータビリティを保ちつつ提供者が稼ぐために、ロックドロップという機会費用を引き換えにトークンを発行する方法及びDEXのAMMを利用した通貨発行益によるインセンティブ設計を行った。これは一つのモデルにすぎないが、現実の経済に適合できる可能性が大きいと考える。

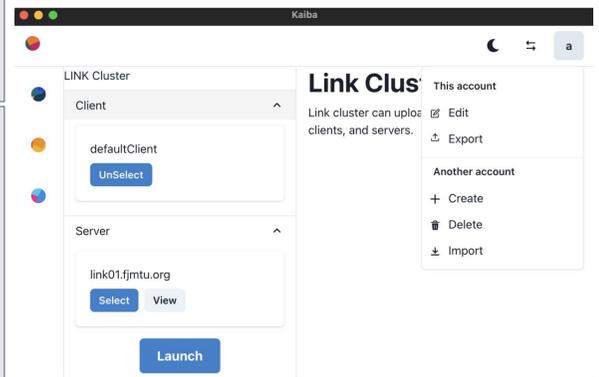
クラスタA



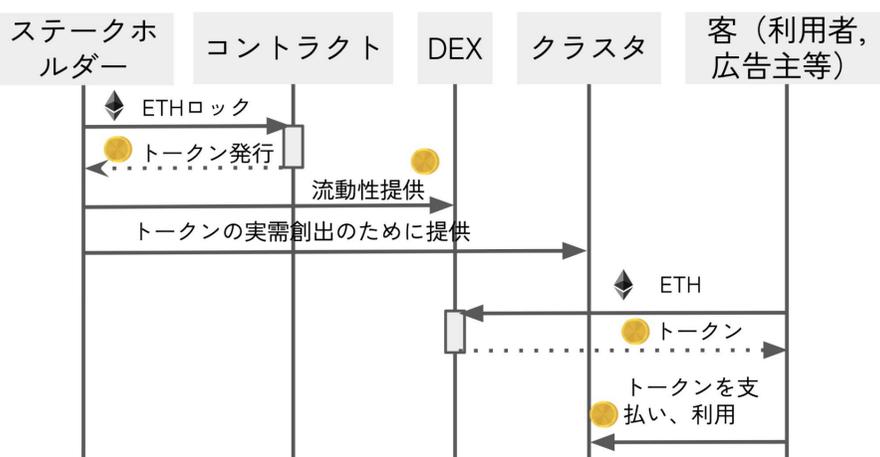
クラスタとは、Portable Webでのアプリケーションの最小単位であり、それが利用するデータの種類で分類する。データ移行スクリプトはJavascriptで記述され、クライアントのDBにキャッシュされたデータを別のクライアントへ移行する。

みんなで作る!

みんなで作ることによって、アプリケーションはより強靱になる。Portable Webは誰でもクラスタを提供でき、みんなで作る事が標準である。



クリプトエコノミクスによる持続可能性の実現



本作の存在意義

Fediverse、Web3及び情報銀行といったトレンドはいずれも既存のWebの延長線上に何らかの工夫を行うものである。それに対し本作では、既存の技術の組み合わせでWebの構造を新たに構築している。**利用者が提供者に対し受動的になるのはWebの構造的な性質であると考えたため、構造を作り直した。**既存のWebは受動的であるのに対し、**本作は能動的である。**その意味で本作は既存のWebの置き換えを目的とせず、**既存のWebの補完**を目的として存在する。本作上に作られたアプリケーションは**データポータビリティと自生的な発展性をデフォルトで備える。**そのためFediverse的な思想を持つアプリケーションにとって本作は、既存のWebよりも滑らかな環境となる。

SecHack365での活動

私のここ数年のテーマは権威性である。Portable Webは参加前に考案し、Kaibaの実装及びクリプトエコノミクスを使ったインセンティブモデルの考案は期間中に行った。今後はPortable Web・Kaibaの多機能化、インセンティブモデルの実装及び社会実験を行う予定である。SecHack365での活動を支えて頂いた方々及び成長の機会を頂いた方々に感謝申し上げます。